

❖ 科目名 Course Title			
一般教育演習（フレッシュマンセミナー）大学生のための情報社会入門			
❖ 担当教員 Instructor			
重田 勝介			
❖ 開講学期 Semester	前期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	30（遠隔） 制限なし（対面）	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	演習		

❖ キーワード Key Words			
情報社会、情報技術、インターネット、ソーシャルメディア、メディアリテラシー、クラウドサービス、情報セキュリティ、制作活動、二次利用、マッシュアップ			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
❖ 授業概要 Course Description			
大学生生活を有意義に過ごすため、またこれからの情報社会を生き抜いてゆくために必要な知識や技能を身につけることを目指す。そのため、情報社会・情報技術に関する基礎知識を学ぶ同時に、「情報社会を生きる」をテーマとしたデジタル教材をグループで制作することで、情報社会に関する知識や技能を実践的に習得することを目標とする。			
❖ 到達目標 Course Goals			
1) 情報社会・情報技術に関する基礎知識を習得する 2) 「情報社会を生きる」をテーマとしたデジタル教材の制作をとおして、情報社会に関する知識や技術を実践的に学ぶ			
❖ 授業計画 Course Schedule			
1) 授業の前半は、情報社会・情報科学についての基礎知識について講義と実習を行う。 以下のようなテーマを扱う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報環境の整備：PCやネットワークの選択方法と注意点 ・ インターネットセキュリティ：コンピュータウイルスの基礎知識と対策 ・ データの扱い方と管理方法：バックアップ・バージョン管理 ・ クラウドサービスの仕組みと使い方 ・ ソーシャルメディアの使いかた：メリットと注意点 ・ テキストデータの操作（調査データ等の編集と管理） ・ ネット上での制作活動：著作権の確認、引用ルール、二次利用（マッシュアップ）の作法 			
2) 授業の後半は、グループで「情報社会を生きる」をテーマとしたデジタル教材を制作する。制作活動を授業時間中、または授業時間外に課題として行ない、最後の授業で発表会を行なう。学生が希望する場合、制作した教材をオープン教材(OER: Open Educational Resources)として一般にも公開する。			
❖ 成績評価 Grading System			
出席点（40%）、課題の提出（20%）、グループ作業への参加の程度と成果（40%）により評価する。			
❖ テキスト Textbooks			
❖ 参考書 Reading List			
❖ 準備学習 Homework			
授業の前半は課題に取り組む。授業の後半は基本的に授業時間中において制作活動を行なうが、講義中に指示された予習または制作活動を授業時間外に求めることがある。			

❖ オフィスアワーOffice Hour
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail
❖ 質問・相談への対応方法Contact Information
❖ 履修上の注意Notes
❖ 備考Other Information

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。